

パート4 兵庫県の漁業の現状と今後

6年間に亘って取組む テーマ選定の理由

さかなチーム 7名

平成20年7月発足

1. 食料自給率 水産物 57% 食料全般 40%
2. 県の自給率 水産物 21% 食料全般 16%
3. 水産物の自給率(国、県)が余りにも低い、ビックリ！
又 水産王国とっていたのに何故か？
4. 県は日本海、太平洋、瀬戸内海があり、何故水産物の自給率が低いのか？ なぜ輸入が急増したか？
5. 魚介類の流通と販売方法が大きく変化、
流通の大型化、大型チェーン店、切り身の販売
包装(新聞紙→トレーラップ)の変化と清潔化



日本一の魚のはく製水族館

さかなチーム 7名 境港研修

2013-10-6・7



辻野 中埜 衣笠 森田 池田 西尾 山川

目次

- 第1章 今までの発表等の経緯
- 第2章 海洋と水産資源の状況
- 第3章 兵庫県の水産業の状況と
漁業、漁獲量の現状
- 第4章 栽培・養殖漁業の状況
- 第5章 消費と消費者の動向
- 第6章 他府県等の情報
- 第7章 提言



第一章 昨年までの発表とまとめ経緯

パート1. サブテーマ. 平成21年発表

海と魚の実情と私達の暮らし

パート2. サブテーマ. 平成23年12月発表

水産資源の減少・枯渇と栽培・養殖漁業

パート3. サブテーマ. 平成24年12月発表

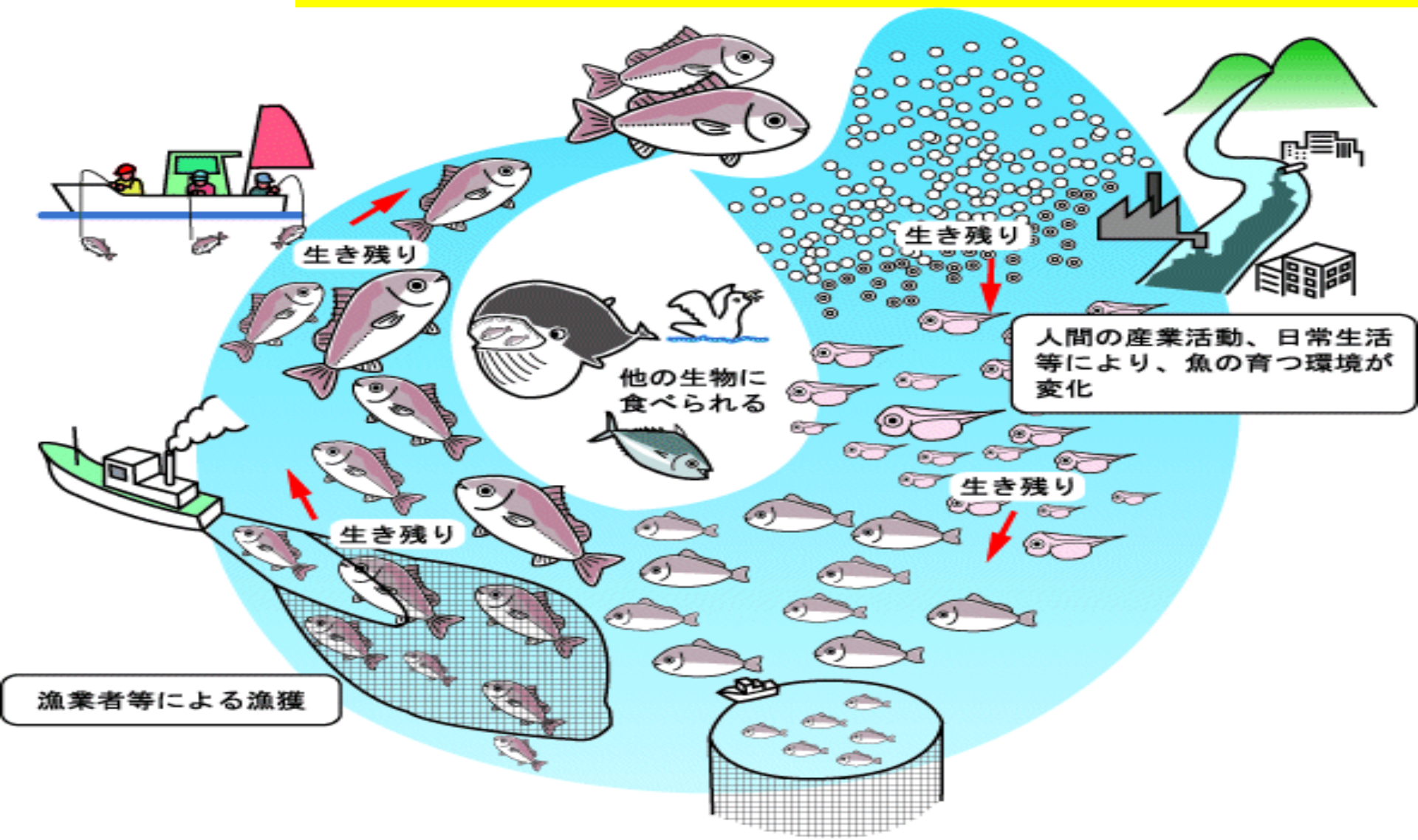
後世に伝えよう魚食文化

パート4. 平成25年12月発表

兵庫県の漁業の現状と今後

第2章 海洋と水産資源の状況

水産資源の変動、自然環境と人間活動



海の状況

1. 2009年の水産白書(2008年度 全国)

①藻場(産卵、保育場)は30年間で40%減少

②干潟(河口、前浜)は50年間で40%減少

2. 瀬戸内海環境フォーラム資料(平成19年)

①埋め立ては甲子園球場の一万倍(45, 500ha)

②人口海岸は49%、半人工海岸が14%、計63%

3. 瀬戸内海の漁獲量は1986と2004年と比較

①全漁獲量は 43%減 ②アサリ 99%減

③エビ 65%減 ④海藻類 85%減

⑤カレイ類 44%減

明石二見海岸

昔 好漁場、浅瀬、藻場

今 人工海岸、人工島



60mの埋立海岸

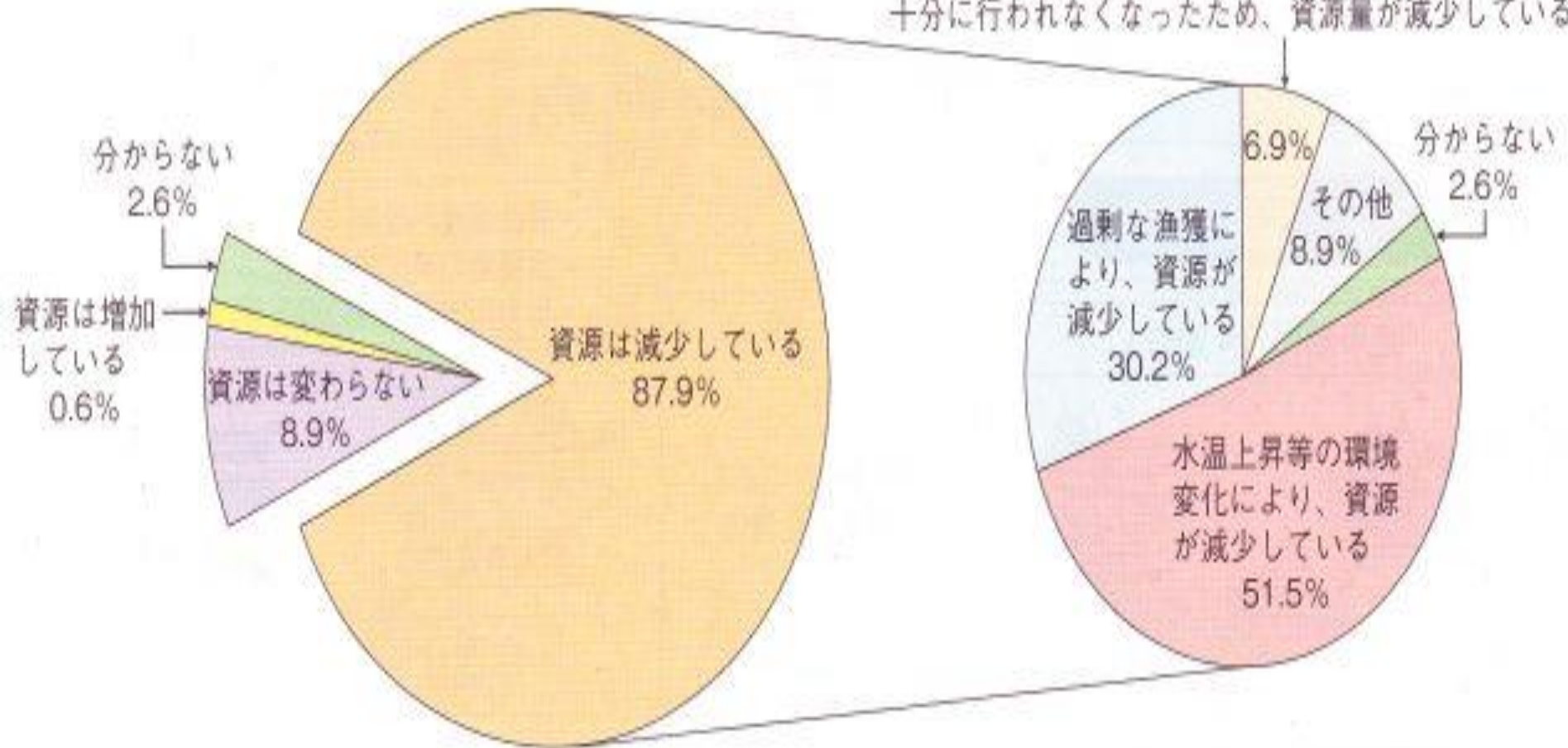
右 人工島 2島
工場地帯



水産資源の状況と資源減少の原因

漁業者の意識

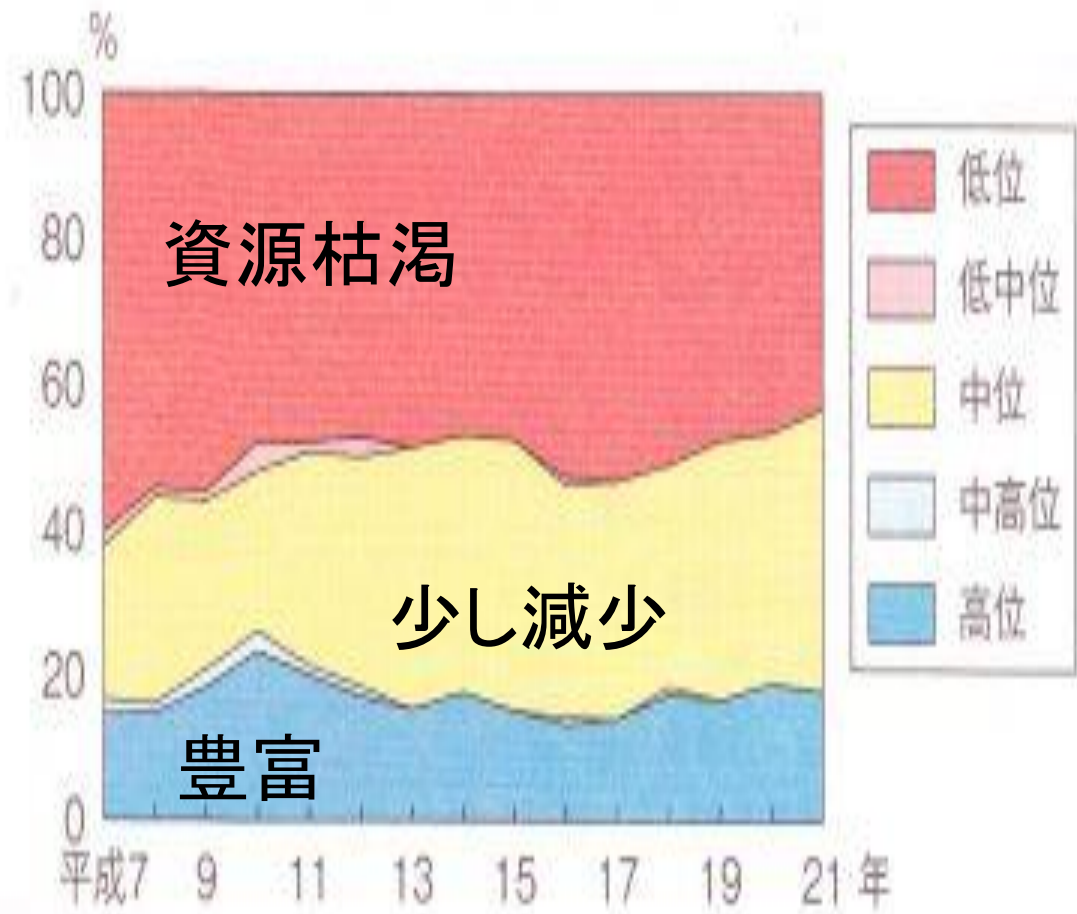
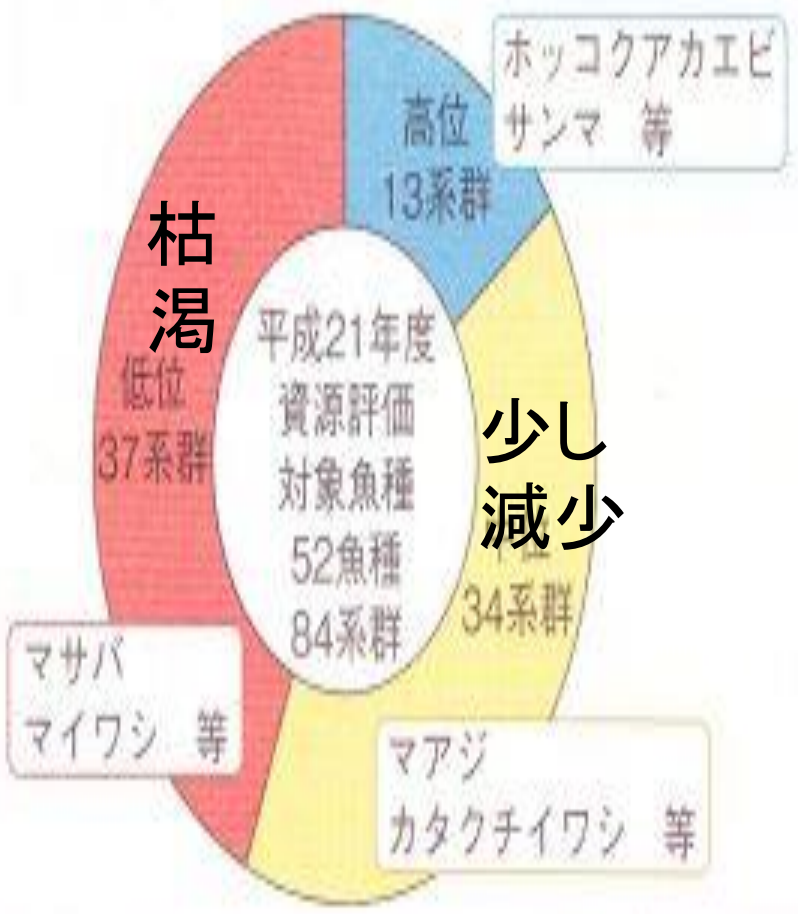
漁業者の減少等により地先の漁場の管理・保全等が十分に行われなくなったため、資源量が減少している



資料：農林水産省「食料・農業・農村及び水産資源の持続的利用に関する意識・意向調査」（平成23年5月公表）

注：情報交流モニターのうち、漁業者モニター400名を対象。回収率は86.8%（347名）。

水産資源水準〔減少〕状況と推移



資料：水産庁・(独)水産総合研究センター「我が国周辺水域の漁業資源評価」等

注：資源水準の推移では、サンマの資源量の把握は平成15年以降、ズワイガニの資源量の把握は平成16年以降のため除外。

第3章 兵庫県の水産業の状況と 漁業、漁獲量の現状



兵庫県の漁業について

- 1) 日本海、瀬戸内海の自然条件が異なる2つの海に面しており、海岸線の長さは848Kmで長さは全国第11位で、多彩な漁業が営まれています。
- 2) 日本海では、100トン未満の中小型漁船の底曳き網漁業やイカ釣り・沖合・沿岸漁業が中心に松葉ガニ、香住ガニ、イカ、ハタハタ、カレイ、甘エビ、等。
- 3) 瀬戸内海では、5トン未満の小型船の底曳き網・船曳き・刺網・一本釣り漁業などでマダイ、タコ、イカナゴ、イワシ、シラス、アナゴ、カレイ、など。
- 4) 漁業生産量; 130千トン、生産額421億円(全国9位)
組合員; 6, 288人、漁船数; 6, 356隻 (平成22年)

兵庫県の漁業の主要な指標

率は全国シェア、順位は全国の県別の順位、指数は兵庫県の22年÷18年×100

平成18年		項 目		平 成 2 2 年			
兵庫県	率		単位	兵庫県	率	順位	指数
559	4.4	人 口	万人	559	4.4	7	99.9
628	2.8	漁業就業者数	十人	629	2.8	12	100.1
750	3.5	漁船隻数	十隻	636	3.4	11	84.7
568	1.3	漁業生産量	百トン	529	1.3	21	93.1
713	5.9	養殖業生産量	百トン	665	6.0	7	93.2
1,258	2.2	漁業生産額量	百トン	1,194	2.3	14	92.9
4,823	4.6	漁業生産額	千万円	4,212	3.0	10	97.3

兵庫県の魚種別生産量と全国順位、割合 トン

平成19年				区分 魚種名	平成22年				
全国	兵庫県	順位	割合		全国	兵庫県	順位	割合	22/19 %
65,315	7,864	2位	12.04%	シラス	71,843	14,505	1位	20.20%	184.40%
5,970	1,945	1位	32.58%	ズワイガニ	4,809	1,394	1位	28.99%	◎ 71.6%
395,777	67,582	2位	17.08%	のり(養殖)	328,700	58,238	2位	17.72%	◎ 86.2%
10,758	1,573	2位	14.62%	スズキ類	8,968	758	2位	8.45%	◎ 48.19%
52,551	3,489	2位	6.64%	タコ類	41,667	2,724	2位	6.53%	◎ 78.07%
20,228	2,514	4位	12.43%	ベニズワイガニ	19,227	2,804	3位	14.58%	111.54%
7,823	1,512	3位	19.32%	ハタハタ	8,822	1,307	3位	14.82%	◎ 86.44%
55,880	3,534	3位	6.32%	カレイ類	49,032	2,780	3位	5.67%	◎ 78.66%
46,921	9,961	2位	21.23%	イカナゴ	70,757	7,896	4位	11.16%	◎ 79.27%
15,607	878	5位	5.62%	マダイ	14,947	998	4位	6.68%	113.67%

資料: 兵庫県の水産業の動き

グラフで説明